



# ENAGIC GLOBAL E-FRIENDS

Vol  
219  
Japan Edition  
2019 2月号



“微笑みの国”タイへようこそ！

2019 E8PA  
グローバルコンベンション開催！



ENAGIC

# 熱意・情熱・感動・献身・精神・気力

これらはすべてパッションのための言葉です。パッションは、あなたに本当に働きかけ、あなたの心を開花させ、そしてあなたを目覚めさせます——その日を逃すな！

パッションはわたしたちにとってミッションを実行するための源泉です。それは、わたしたちを単なる“売り手”から切り離し“人生の変革者”へと導きます。パッションは寒い冬の朝の息吹、そして暑い夏の夜の汗なのです。

今年、わたしはあなたの魂の奥深くまで達して、人生の深い情熱を引き出すことにチャレンジします。それは人びとを抱擁して救い出し解放すること、または彼らを力づけることになるでしょうか？ 深く追求すれば、彼らの中にも、あなたのように夢を描き、希望を持ち、しかし苦しんでもいる——そんな同じ一面を見るのでしょうか？

それは、家族の安泰、豊かな暮らしと祝福、満足感の獲得といったものと同様、すべての人に共通した願いなのでしょうか？

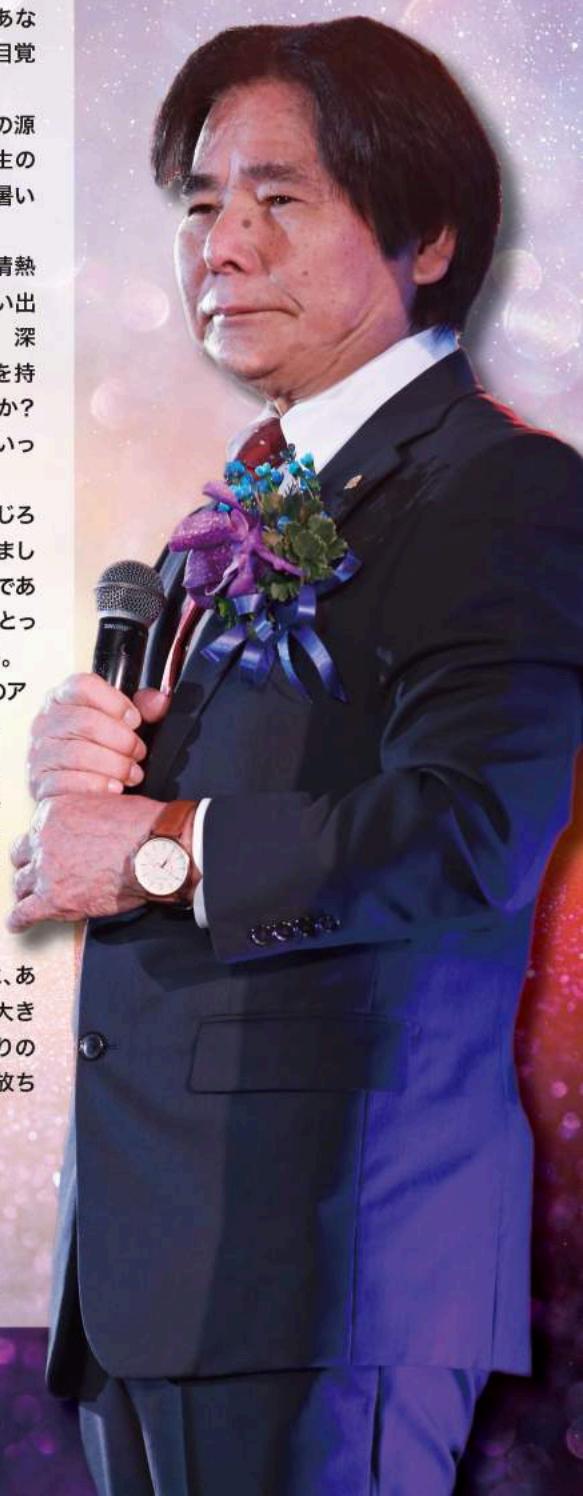
これがあなたのパッションなら、なぜあなたは世界の中でたじろぐのでしょうか。誰かが「あなたのパッションは足りない」と言いましたか？ どのような間違った状況が、あなたを能力以下の人間であると戸惑わせましたか？ どんな過去が、パッションは世界にとって重要ではない、というあなたの誤った考えに導いたのでしょうか。

わたしは「まず始めよう！」と言いたい。あなたがパッションのアクセルを思い切り踏めば、あなたの人生を変えることができます。そして後ろを振り返らず、否定論者の虚言など聞き入れず、あなたをまるで無にするような人たちの狭い視野にもとらわれず、その代わりに生命力とパッションをフルに発揮して、人びとの生活を変えるための試練に立ち向かいましょう。無駄にする時間などありません。

2月という季節がわたしたちを包み込むように、バレンタインデーが人びとへのわたしたちの愛と崇拜を思い出させるように、あなたのパッションにつながるクラッチを強く結んでください。大きく、すべてを出し切って、全世界のファミリーのために「思いやりのある世界」の実現に向け、わたしたちはパッションの鳩を解き放ちましょう！

パッションがあなたのものになるように！

(株)エナジックインターナショナル  
CEO 大城 博成





## タイでE8PAグローバルコンベンションを開催！ “微笑みの国”的首都バンコクに世界の販売店が結集！

1月26日、タイの首都バンコクの巨大イベント会場「タイCCタワー」で、2019 E8PAグローバルコンベンションが開催され、各国から多数の販売店が参加しました。

午前8時から登録受付が始まると順番を待つ行列ができ、早くもイベント参加者の熱気を感じさせました。

9時からは各国のトップ販売店によるセミナーが連続しておこなわれ、会場を埋めた参加者は話をひと言も聞き漏らすまいと熱心に耳を傾けていました。セミナー終了後にディナータイムに入ると、新6A(以上)の昇格者認定式やインセンティブ授与式などがおこなわれ、参加者の熱気は最高潮に達しました。

その前日の25日には6A2-6販売店7人と大城会長夫妻およびエナジックの幹部社員らが一堂に会し、ビジネスミーティングを実施しました。席上、さまざまなテーマについて活発な意見交換がおこなわれましたが、エナジックビジネスのいっそうのグローバル化をめざすことを全員で確認。参加者は今後の取り組みの強化を誓っていました。

同日夕刻からは大城会長と有力販売店による特別セミナーが実施されました。大城会長は「世界には“水を変えれば人生が変わる”というエナジックの情けの報せを待っている人たちがまだ

### 6A2-6販売店ミーティングを開催！



世界トップリーダーが参加したミーティング

まだたくさんいます。ぜひそういう人たちに情けの和を広げていきましょう！」と呼びかけ、参加者の共感を集めました。

コンベンション翌日の27日には、バンコク市内のゴルフ場で「プロアマチャリティー・エナジックゴルフクラシック」が開催されました。販売店の皆さんと現地のプロゴルファーと一緒にプレーを楽しみ、チャリティーにも熱心に取り組んでいました。

付記すると、28、29日には同じゴルフ場で、アジア各国のジュニアゴルファーがいっせいに集い「エナジックジュニアチャンピオンシップ2019アジア最終予選」が開催されました。優勝すると、7月にアメリカで開催される「エナジックジュニアチャンピオンシップ」に参加できることもあり、熱心な戦いが繰り広げられました。

### 大城会長と有力販売店がパワフルなセミナーを実施！



セミナーの講師を務めた(左から)ジョン・リムさん、グリー・ガンさん、サム・シアさん

## E8PAグローバルコンベンション本番！

朝の登録時からエキサイティングな雰囲気を漂わせていたコンベンションは、引き続き始まった有力販売店のセミナーでさらに熱気を高め、メインイベントがおこなわれるディナータイムへと雪崩れ込んでいきました。



## いよいよ大城会長ファミリー 登場！

タイの伝統舞踊で幕を開けたコンベンション本番。大城会長ファミリー（会長夫妻と博樹常務）が壇上に上がると万雷の拍手と大きな歓声が満場を包み込みました。そして大城会長が開会の挨拶をおこなってから乾杯となり、さまざまな余興をはさみながら、メインイベントの昇格者認定式に移っていました。



## コンベンションのメインイベント 感動の昇格者認定式で場内大興奮！

有馬裕一グローバルセールス本部長から認定証を授与された6A～6A2-2販売店





## ◆ 6 A2 到達者紹介 ◆



## ◆ 6 A2-2 到達者紹介 ◆



大城会長ファミリーから認定証を授与された 6 A2-3(以上)到達者

## ◆ 6A2-3到達者紹介 ◆



## ◆ 6A2-4到達者紹介 ◆



## ◆ 6A2-5到達者紹介 ◆



# プロアマ・チャリティーゴルフコンペを開催！



大会会長夫妻を囲んで全参加者が“雄たけび”を！

グローバルコンベンションの名残も濃い翌27日にバンコク市内のゴルフ場で、チャリティーゴルフ大会が開催されました。多くの販売店が地元のプロゴルファーも交えてプレーを楽しみ、またチャリティーにも大いに協力しました。



ナイスショット(II)



会場に張り出されたスポンサーボード



SPECIAL THANKS TO  
IN APPRECIATION FOR YOUR SUPPORT\*



事前の練習に余念のない参加者



大会会長とヨースを囲ったタイのトップ女子プロの  
チャカシム・カンボン選手



ラウンド終了後におこなわれた表彰式



次代を担うジュニアのゴルファーも参加



子どもたちの支援のための寄付をする大会会長



## ✓ E ポイントを使おう！

E8PA 会員は、貯めた E ポイントを沖縄の E8PA 施設訪問やコンベンション等、E8PA が主催するイベントに参加するための航空券代や宿泊代として使用することができます。  
(カード会員家族や傘下販売店の旅費にも使用可)



## ✓ イベント参加費がお得に！

エナジックのグローバルコンベンションや有料セミナーの参加費が優待価格になります。

ブラック無料、プラチナム 80% オフ、ゴールド 60% オフ、  
シルバー 40% オフ、ブロンズ 20% オフ、クリスタル 10% オフ

## ✓ E8PA 会員 E メールサービス

マージンが発生する都度、E メールでお知らせいたします。



## ✓ オンライン販売店展開図

あなたがエナジックビジネスを戦略的に築いていくために必要不可欠な情報ツールです！  
グループの育成状況が一目で把握でき、効率的に組織を拡大するためにきわめて有用です。

→ <https://information.enagic.com/mypage>

エナジック販売店用  
ポータルサイト



✓ 詳しくは → <http://e8pa.com>



# 2019 E8PA グローバルコンベンション in 沖縄

～大城会長誕生日祝い～

2019年3月17日(日)

パーゴルフに参加しよう!!  
未経験者も一緒に皆で楽しもう!

チケット代			
	2月15日まで	2月28日まで	3月以降
ブラック	\$0	\$0	\$0
プラチナム	\$30	\$40	\$60 80%OFF
ゴールド	\$60	\$80	\$120 60%OFF
シルバー	\$90	\$120	\$180 40%OFF
ブロンズ	\$120	\$160	\$240 20%OFF
クリスタル	\$135	\$180	\$270 10%OFF
カード無し	\$150	\$200	\$300

※ゴルフ:+US\$50ドル(ブラックカード保持者は無料!)

## 3月16日 ゴルフコンペ・パーゴルフ大会

- 09:30 受付開始  
10:00 開会式  
10:30 ゴルフコンペ  
10:30 パーゴルフ大会  
18:00 表彰式 & ディナー

## 3月17日 グローバルコンベンション 2019

- 09:00 受付  
10:00 6A2-4(以上)会議  
12:00 昼食  
15:00 6A2-3によるセミナー  
18:00 异格認定式・ディナーセレモニー  
21:00 閉会式

※予定は変更される可能性があります。



<https://www.enagic-convention.com/201903/>

## 金城沙希が「ダイキンレディス」の本戦出場権を獲得！



## 世界を目指しシーサーカップ開催！



大城会長夫妻を囲み健闘を讃めた選手たち

3月7日から10日まで、沖縄県南城市で開催される「第32回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント」に、エナジックゴルフアカデミーで学んだ金城沙希選手が出場権を得ました。これは、1月28、29日に同じ会場でおこなわれた「ダイキンオーキッドレディスアマチュアゴルフ大会(以下、ダイキンアマ)」で、みごと優勝し(上位4人までに与えられる)出場権を得たものです。彼女はアカデミー卒業後、アメリカにゴルフ留学をした経験もあり、将来のホープです。

なお、ダイキンアマには全部で232名が参加し決勝ラウンドには33人が進ましたが、うち13人をアカデミーで学ぶ選手たちが占めました。エナジックゴルフアカデミーの水準の高さを示したといえます。

2月10、11の両日、沖縄県名護市のエナジック瀬戸カントリークラブで、第4回エナジックジュニアオープントーナメント(シーサーカップ)が開催されました。対象は中1～22歳までのアマチュア(男女別)で、全国各地から集まった腕に覚えの83人がエントリー。

ここで優勝すると、米カリフォルニア州で7月に開催される「エナジックジュニアチャンピオンシップ2019」(米国本大会)の参加資格を獲得できます。それだけでなく、上位入賞者には美咲レディスカップやスタジオアリス女子オープンといった全国規模の大会の参加資格も得られます。

結果は、男子が1～3位を、女子は3位をエナジックゴルフアカデミーの生徒(とOB)が占めました。これにより米国本大会には男子1位の与那嶺龍仁(高3)、女子は1位と2位の選手(いずれも大阪の高校生)が派遣されることになりました。



米国大会の出場権を獲得した  
アカデミーで学ぶ与那嶺龍仁選手



アカデミーで練習する子どもたち(右上は田畠稔校長)

## エナジック卓球アカデミーの生徒が沖縄県大会で優勝！

2月3日、沖縄県で開催された卓球の「第38回県小学生大会」で、エナジック卓球アカデミーの生徒たちが団体3部門(高学年団体の男子と低学年団体の男子と女子)で優勝し、個人でも低学年女子の部で西倉叶子が栄冠に輝きました。

エナジック卓球アカデミーは昨年6月に開校。現在、4人のコーチのもとで、小中学生38人が腕を磨いています。田畠稔校長は「低学年からが勝負で、スタートは早いほどいいですね」と語っています。その成果がみごとにあらわれたようです。

# 沖縄から世界へ サクセスストーリー 大城博成

第37回

## 過去の辛酸が生みだした独自の人生哲学

大城は頻繁に“チャンプルー人事”をする。それは「最高の味」が引き出せていないためだ。もちろんそこにはきちんととした目的がある。不満を漏らす社員もいるが。

マーケティングにもこのチャンプルーを応用する。電解水生成器の販売から発生するコミッショントウコンの販売から発生するコミッショントウコンの販売を“チャンプルー”にして、上手に結びつけた。するとウコンの販売にも力が入るということになる。チャンプルーは“残り物の寄せ集め”という低いイメージから、今では昇華現象を起こして実に“美味しい”というイメージになった。着眼点が違うと評価に落差ができるものである。

### 腰をかがめてペニーを拾う

最近のエピソードである。筆者は大城とホテルのレストランで二人向き合って話をしていた。話題が何であったか空覚えだが、大城はめったに雑談はないので、仕事絡みの話だったろう。食事時の前で、レストランには誰もいない静かな雰囲気であった。

話を済ませ、二人は立ち上がり出口に向かったのであるが、大城はいきなり腰をかがめてカーペットに落ちているペニー(1セント)硬貨を拾い上げ、「ペニーは大切だ」と言って同行の者に手渡したのであった。そして一步進み、また腰をかがめたが、「これはペニーでない」と言って腰をもとに戻した。

この彼の行動の中に何かを見たような気がした。質素な生活はもちろんだが、大城のこの姿を見ると、かつて苦労した過去の厳しい生活が、今なお無意識に目覚めることがあるのではないだろうか。

大城は社員、販売店に大判振る舞いをする人だ。けち臭い姿は微塵も見えない。その彼が一枚のペニー硬貨に目を留めるほど過去は厳しかったのだ。また、失敗を重ねながら、今日、明日をどう迎えていけばいいのか、苦労の連続であったのだ。「一銭を笑う者は一銭に泣く」と言うが、一銭の価値に感謝してこそ今日の大城が

あるのだろう。

彼は言う。「我が社は困っている人のための会社だ」「コミッショントウコンはすぐ払え」と確かに、会社はそのようなポリシーを大切にしている。人は自分が苦労するとその苦労をどこかにぶつけたり、押し付けたりするようになる。人には、誰かの貧困、苦労によって、自分の利益や幸福を得ようとする心がある。貪欲さもある。だが自分の経験したような苦労は誰にもさせたくない、と相手の幸せに気を配ることができれば、この世界は平和でより豊かな住みやすい世界となるだろう。

### 求める人にはセカンド・チャンスを！

大城は「エナジックは弱者のための会社だ」「販売店も貧しい人、少数民族を見つけよ」と、よく話す。自分が貧しく生まれ、育ったからである。辛酸をなめた人は困難の中にいる人の気持ちがよく分かるものだ。

社員の中でも同じ失敗を繰り返し、問題の解決に疎い人たちがいる。また、自主的に辞めた人、時にはプレッシャーから辞めた人もいる。しかし、いったん辞めた人が復職したいと申し込んでくると、大城はセカンド・チャンスを与える。ほかの社員や販売店が嫌っても、大城はあえてチャンスを与え、「過去の失敗を倍にして取り返せ」と、新しいポジションに配属する。

もちろん人道主義だけでは経営は成り立たないので、当該社員が復職することで得られるメリットを見据えてのことだ。そして、そのための工夫をする。大城は既存の経営哲学には依存しない。常にその時その時に応できる柔軟な哲学に基づいて判断をするのである。



【前原利夫・著  
『小さな島から世界を飲む！』より】

東京都台東区  
カラオケスナック  
みんなの広場 優子



住所: 東京都台東区浅草橋1-8-28  
電話: 03-3863-6648  
休日: 日・祝祭日  
営業時間: 【夜間】午後6時~午前0時半  
【昼間】午後0時~午後5時

## 電解水使用で安心安全な時間無制限・歌い放題の店！



「レベラックは2代目」と語るオーナーの  
南優子さん

南優子さんが経営する「みんなの広場 優子」は、JR & 都営線・浅草橋駅とクロスする江戸通りから路地を入ってすぐの4階建て自社ビルの2階にある。駅から徒歩数分の至便な場所だ。

江戸通りとは都道の通称で、東京駅北東側から浅草橋を経由し、隅田川に沿いながら北上して言問橋に至る道。東京の代表的な下町を貫く道路で、浅草橋にも久月や秀月といった江戸情緒を漂わせる人形店が軒を連ねている。

優子さんは東京生まれではないが40年以上も浅草橋に住んでいるせいか、話しぶりは「江戸弁」さながらで、実にさっぱりして心地よいのである。店の経営方針もたいへんさっぱりしている。まず料金。飲み放題・歌い放題・おまけに時間無制限なのに3,000円ポッキリだ(これでつまみ料理・乾きもの・果物付き!)。通常、定額制の場合、多くが時間制限をする。でないと客に長時間“占拠”される怖れがあるからだ。実際、ここでも開店から閉店まで粘る客がいるという。しかし優子さんは笑い飛ばして「お客様が喜んでくれればいいのよ」と、実にさっぱりしているのだ。

もともとビル1階でコンビニ店を経営していた。だが先行きを懸念し、2006年に1階を貸店舗にして2階にカラオケスナックを開いた(現在、1階には餃子専門店が入居)。去年の

12月からは「昼カラオケ」を始めた。ここでも、時間無制限・菓子付き・ソフトドリンク飲み放題で1,000円ポッキリの「さっぱり方針」を貫いている。

さらに驚かされるのが、「食べ物と飲み物(さえも!)持ち込み可」ということ。実際、取材をした日にも、女性客2人がいろいろな料理を持ち込んで、歌いながらパクパク食べていた。この謹揚は特筆に値するだろう。

店のレベラックは2代目である。そもそもスナック開店の1年前からビル上階の自宅で使っていた。店では、つまみ用の料理すべてとチエイサーヤやアルコールを割る水に還元水を使用。また、強酸性電解水はトイレの消臭・手洗い用や、まな板・包丁の洗浄といった衛生管理に活用している。強還元水は冷蔵庫や電子レンジ、キッチンまわりの清掃に欠かせないという。「みんなの

広場 優子」は、料金面だけでなく安全面でも電解水をフル活用する“客ファースト”の店なのである。



定員は40人。店内は分離で喫煙室を設けてある



盛り上がる店内。奥の女性客は押しづしや中華料理を持ち込んでいた



新コンプライアンスシリーズ

# わたしたちの法令順守宣言！

流通ジャーナリスト

おお ぐり  
大栗 準

No.20

## 処分された数々の「迷惑勧誘」事例

今回は、「迷惑勧誘」について取り上げたいと思います。というのも、迷惑勧誘を理由に処分を受ける事業者が多いからです。2018年の1年間だけを見ても、10を越える事業者が「迷惑勧誘」と認定され、業務停止命令などの処分を受けています。中には、連鎖販売取引の会社が業務停止を命じられたケースもありました。

特定商取引法では、「迷惑を覚えさせるような仕方で勧誘」することを禁じています。ただ、「迷惑」というのは主觀の問題で、どこまでが違反なのか、少し分かりにくいですね。

そこで消費者庁などがまとめた特商法の解説書を見ると、より具体的に例示をしています。たとえば、「正当な理由なく午後9時から午前8時までの間といった不適当な時間帯に勧誘をすること、長時間にわたり勧誘すること、執拗に何度も勧誘すること」などが迷惑勧誘に該当するとしています。つまり、深夜・早朝や長時間でしつこい勧誘はNGというわけです。

### 深夜・長時間は絶対ダメ

では処分を受けた具体的な事例を見てみましょう。愛知県が18年3月に学習教

材の訪販事業者に処分をおこなった事例では、販売員が午後10時過ぎまで3時間にわたる勧誘をおこなっていたことが違反に問われました。

滋賀県が18年12月に連鎖販売事業者に対して3ヶ月間の業務停止命令を下した事例では、難色を示した消費者に対して、会員が夜間・長時間にわたり説明を繰り返していました。



### 迷惑勧誘は処分の対象！

「家に帰って考えたい」と告げた若者に対し、翌日の午前0時を過ぎるまで勧誘し契約させた事例もあったということです。

18年12月に静岡県が学習教材の訪販事業者に6ヶ月間の業務停止命令を出した事例では、販売員が2時間にわたりて勧誘をおこなった後、「金額が高いので、うちの人にも相談したい」と言った消費者

に対して、「相談はなしです。今じゃないとだめです」と告げたことが「迷惑勧誘」と認定されました。

### 迷惑と思わせたらアウト！

埼玉県が18年12月に床下工事事業者に対して12ヶ月もの長期にわたる業務停止命令をおこなった事例では、「消費者が点検を断っているのに何度も勧めたことや、「消費者が見積書や契約書の作成を依頼していないのに書類の記載を始め、断りにくくした」と、そして、「このままでは屋根が落ちてくるなどと消費者の不安をあおった」ことなどが、迷惑勧誘と認定されています。

また、太陽熱温水器のある事業者は、断っているのに半ば強引に屋根に上り点検をおこなうなど、迷惑を感じさせる勧誘をしていたとして、埼玉県から6ヶ月の業務停止命令を受けました。

以上、迷惑勧誘と一口に言ってもさまざまなバリエーションがあることが見て取れます。ただ、明らかなのは、消費者に「迷惑」を感じさせてはならないということです。十分に気を付けましょう。

## 児玉陽子の正しい「食養」のすすめ

### 「食養」の歴史を辿る——貝原益軒と横井也有

前号では、日野厚博士の食養指導の甲斐もあって、重篤な病気が改善に向かつたため、感心したわたしは食養指導の仕事を取り組むようになった、とお話ししました。日野博士の長年の研究成果に基づく指導方法がきっかけになったわけですが、ではそもそも食生活のあり方に関する手立てや方策は、いつごろから説かれるようになったのでしょうか。

今月号から何回かに分けて、食養をめぐる日本の「学説・理論」とその実践の歴史をたどってみたいと思います。

といって、太古の時代にまでさかのぼるほど紙數に余裕はありません。せいぜい江戸時代あたりからの歴史を対象にしてみます。そういうと、多くの人が思い浮かべるのが、江戸時代前期に活躍した、儒学者であり本草学（当時の薬学）者でもあった貝原益軒（1630～1714）ではありませんか。とくに、彼が晩年に著した有名な『養生訓』は、代表的な「健康読本」として誰もが知っているでしょう。

これは、いま風にいうと、健康であるための秘訣を、総論・飲食・五官・病気と薬・養老の各領域にわたり説いた書。中でも飲食については扱いが大きく、現在でもたいへん参考になる内容を含んでいます。たとえばこんなふうです。

- 飲食は摂りすぎず腹八分に。
- 五味（甘・辛・しおっぽい・苦み・酸っぱみ）を偏って摂るな。
- 「地の食材」を新鮮なうちに摂れ。

#### ■横井が説く「食養」四訓

これと似たような「戒め」は江戸中期に横井也有（1702-1783）という尾張の俳人が書いたとされる「健康十訓」の中にも四つ出でています。

- 少食多噉（満腹にならずよく噉む）
- 少塩多酢（塩は控え酢を多く摂る）
- 少糖多果（糖分を少なくし果物を多く摂る）
- 少肉多菜（肉類は少なく穀物菜食を）

横井はそのほかに、少煩多眠（気持ち

を和ませてよく眠る）とか、少怒多笑（怒らずに楽しく生きる）、少車多歩（適度に歩く）といった心身の健康のための「訓示」もしていますが、その中心は食生活の改善にあったといえるでしょう。

益軒や横井のこうした考え方の根底にあるのが、食こそが心身を養い、病気を治す最善の方法で、薬にも勝る効果があるという理念です。

この理念は、食生活の改善などをテーマにするさい、よく使われる「身土不二」や「医食同源」とほぼ同じ考え方といえます。前者は「人はそれぞれが暮らす土地で採れる季節の食物を常食することで、身体が環境に調和し健康になる」という意味。

後者は、「病気の治療も日常の食事も、共に生命を養い健康を保つために欠かせない、源は同じ」という考え方。こうした思考を科学的にとらえ新しい食養を提唱したのが、明治期に活躍した医師・石塚左玄（いしづかさげん）でした。次回はこの石塚を取り上げてみます。



児玉陽子 略歴：

1936年3月、台湾・台北市生まれ。  
55年に皮膚病、59年に結核を発症。東邦大学病院の日野厚博士の指導により「日野式食養」を実践し快癒。  
以来、食養研究を始め、69年から公益財団法人・河野臨牀医学研究所（東京都品川区）で食養指導を開始。  
78年には日野博士と共に日本初の「食養内科」を松井病院（東京都大田区）に設けて食養指導を実施。95年、同病院顧問に。  
現在はフリーランスの立場で、食生活についての指導・啓蒙活動をおこなっている。  
主著に『臨床栄養と食事改善指導』『アレルギーにならないための離乳食』（いずれも経書房）など。

児玉陽子  
食生活アドバイザー  
元松井病院食養内科顧問

